

有焯同窓会報

2024年(令和6年) 11月23日 発行 第37号



ホテルリッチ&ガーデン酒田で開催された総会

令和6年度役員		常任理事	
会 長	齊藤眞里子 (S45年卒)	今野 幸子 (S41年卒)	齋藤 禎子 (S49年卒)
		土門 京 (S42年卒)	佐藤 美鈴 (S50年卒)
副 会 長	須田 和子 (S47年卒)	岩崎千英子 (S43年卒)	柿崎寿摩子 (S51年卒)
	佐藤 玲 (S51年卒)	志田多恵子 (S44年卒)	佐藤 優子 (S52年卒)
		三船 一子 (S45年卒)	守屋 良子 (S53年卒)
		表山 裕子 (S46年卒)	粕谷万希子 (S54年卒)
		渡辺 和紀 (S48年卒)	高橋 千文 (S55年卒)

今年度の活動も順調に推移しております。6月8日には総会・懇親会が開催され、昭和51年卒業の当番学年と理事・常任理事の皆さまの尽力で、174名の同窓生や校長先生はじめ新旧職員が集いました。長年に及ぶコロナの影響から抜け出し、有焯同窓会らしい、明るく華やかで温かい会となりました。まだの方は来年度こそぜひ参加ください。

在校生への支援も順調で、後輩の教育充実に貢献しております。定時制の生活体験発表での同窓会賞の授与も、大変有意義でした。基本会計による懸案の同窓会館のトイレ洋式化も実現しました。

一方、速く大きな時代の変化への対応も求められています。個人情報保護と同窓会活動を進めていく上での情報の共有、諸物価値上がりに対応する予算の確保や執行方法の工夫など、課題解決に向け三役常任理事会では対応を検討しながら進めております。今年の総会への参加者集約には一部で二



同窓会に若い力と男性会員の参加を

同窓会長 齋藤 眞里子

6月8日(土)、令和6年度有焯同窓会総会・懇親会がホテルリッチ&ガーデン酒田で開催されました。今年は参加者の制限もなく、来賓・役員合わせて174名が参加。役員改選・今年度の事業計画・予算案などの審議が行われ、原案通り承認されました。また、時代の変化に伴い男性会員の総会・懇親会への参加が強く求められています。

次元コードも活用され、大きく様変わりしました。今こそ伝統を守りつつ時代の変化に対応する、若い世代や男性会員の力を必要としています。

6月30日、鶴岡支部が5年ぶりの総会を開催しました。佐藤支部長はじめ会員の皆さまに感謝いたします。今後も2年ごとの開催を予定しておられるとのこと。各支部の解散が相次いだなかの嬉しい出来事でした。

末筆ながら同窓会長、顧問として尽力いただいた松田たつ子様のご退任の報告と感謝を申し上げます。ありがとうございました。



同窓会での「はて？」

校長 高橋 秀典

コロナ禍においても工夫しながら同窓会総会が開催されてきましたが、今年は久しぶりにコロナ禍前に近い状態で開催されました。実行委員や役員をはじめとする、有焯同窓会の皆さんの「裕かに聴く 逞しく」のご対応に感心するばかりです。

同窓会に出席しての「はて？」があります。平成3年度から共学校となりましたが、同窓会活動で男性同窓生とご一緒したことがあります。総会でも「いつになっ

ら男性同窓生と出会えるのだろうか」という声をお聞きます。そこには、男女やさまざまな年代が同窓会活動に参加することで、多様な視点や経験を共有したより豊かな交流が生まれ、同窓生一人ひとりのさらなる活躍と同窓会の発展への期待があると感じています。

在校生が活躍できるのも、有焯同窓会の皆さんの温かいご支援があればこそと心から感謝しております。変わらぬご支援をお願い申し上げます。

東 西 南 北

高校時代に観た映画で想うこと

前東京支部長

中村多美子 (昭和45年卒業 千葉県東金市在住)



安芸の宮島にて

つい最近1960〜70年代の映画音楽のCDを購入した。何曲か聴き進めるうちに、高校時代に観た映画の思い出がまざまざと脳裏に浮かんできた。

1967年の4月に入学し、1970年の3月に卒業した私にとってまさにドンピシャの音楽だった。私には高校入学時に

「3年間に映画を1000本観る」という目標があった。それを可能にするのは、酒田には当時東洋一の映画館といわれたグリーンハウスがあったからだ。私たちの年代にはグリーンハウスは特別な存在だった。2階にはシネサロンという15人ほどしか入れないミニシアターがあり、「ローマの休日」や「慕情」といった名作を上映しており、私はそこに頻繁に通い名作を堪能した。100本の目標は達成できなかったが、多くの作品に触れたことで、人生観が広がり、世の中のこと

きたような気がしている。高校時代は多感な時期である。勉強はもちろんだが、それ以外にたくさん本を読んだり映画を観て疑似体験し感情移入をすることは自分自身を豊かにし、その後に起こるさまざまなことに対処していく術を授けてくれるものと信じている。映画に限らず、できるだけ多くのことを経験してもらいたい、というのが私の願いである。これまで生きてきて感じることもある。若いうちに積んだ経験は必ず後になつて役に立つことが多く経験することに無駄な物は何一つないということ。それだけは声を大にして皆さんにお伝えしたい。

事務局だより

- ・維持会費2000円は同封の振込用紙で令和7年3月15日まで納入して下さいようお願いいたします。
- ・振込用紙は郵便局とコンビニどちらでも使用できます。コンビニ納付は手数料がかかります。コンビニで現金納付する場合は、手数料100円がかかります。
- ・住所・氏名の変更、物故や会報が届かない等の連絡は、氏名・旧姓・卒業年・住所・電話番号(本人以外の場合は、統括・連絡先)をご記入の上、同窓会事務局宛FAXまたは兼書でお知らせ下さい。なお、振込用紙に変更事項を記入していただいた際の連絡も可能です。手続きの都合上、電話での連絡はお控え下さい。

T988-0013 酒田市東町5-19-15
酒田西高等学校有焯同窓会事務局
FAX 0234(26) 6627

あとがき

今年ほど自然の脅威にさらされた年はありません。被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。会報37号は編集委員みんなの力を結集し、出来上がりました。ご協力いただいた皆さまに感謝いたします。

編集委員



佐藤美智子 (S45年卒)
本間 幸子 (S48年卒)
佐藤 玲子 (S48年卒)
青山あつ子 (S51年卒)
金子 和恵 (S52年卒)
小松 由美 (S53年卒)
粕谷万希子 (S54年卒)
田澤 薫 (S55年卒)
小野寺恵里子 (S50年卒)
齋藤真結美 (S55年卒)
佐藤まゆみ (S55年卒)



雪の鳥海湖をバックに 右から2人目が久美子さん

「山岳部の新人生は、登山靴で歩くのが伝統だよ」先輩の言葉を素直に信じた私たち。それが冗談だと知るのは、湯野浜強歩当日の朝でした。重い登山靴で足のマメを気にしながら歩き通したことは、西高を語る時に真っ先に浮かぶ思い出です。

地区総体のキャンプファイアの前で踊った「浜千鳥」や冬の山の中で食べたクリスマスケーキなど恐いもの知らずでした。噴煙をあげた鳥海山を仲間と見た時のシヨック。入山規制の続く高2は、鳥海山以外の山々を知るチャンスに変わりました。そして高3の夏、山梨

輝かしい歴史と伝統があり、顧問の「柴たん」こと柴橋先生の熱心な指導のもと、数々の受賞歴を持つ酒西地学部。原石をプレパレートにして顕微鏡を覗き、真剣に山の模型を作る部員たち。だが心に浮かぶのは、「らしくない」光景ばかり。研究もそこそこに「地学そば」を茹でていたこと。「巡検（山での岩石採取）」での数々。柴たんの「目的地まであと5分！」が実はあと1時間が定番だったこと。名物塩鯨汁に皆で困惑したこと。小学校の床にシユラフで雑魚寝したこと。卒業後の同期部員9人は「花結び」と名付けて結束固く、出会いから半世紀経った今もみんなで旅行や食

先生、長生きして下さいね。私にとって40年ぶりの同窓会で全てオールライトな気分です。在酒田や酒田を離れた旧友達とこれの機会に交流を持てたら嬉しいです。

西高の思い出は、①一年の球技大会でバレーボールで優勝したこと。②私は卓球部で顧問は青木先生。竹刀を持って、我々を励まして下さいました。同窓会で青木先生の肩を揉んだらスマホで御家族の写真を見せて下さいました。フレンドリーになれて大変嬉しかったです。



同期部員9人で旅行 前列左が成子さん

事を楽しみ、グループラインは近況報告から様々な話題に広がり、いつも大盛況！あの狭い部室で共に過ごしたかけがえのない日々を思いを馳せて…。



合唱部の仲間と 後列右から3人目がときさん

れでも楽しく続けられたのは、仲間がいたからこそ。部員が何十人いればそれはもめますよ。私た

はて？卒業して何年過ぎたやら。それでも頭の中では、校歌が鳴っています。合唱部といえは合宿！朝御飯の合唱から始まり、夜御飯、おやすみの合唱まで、歌、発声、腹筋運動、この運動部かというほど声帯の筋肉を使い、あとは枯れるだけという日々でした。それでも楽しく続けられたのは、仲間がいたからこそ。部員が何十人いればそれはもめますよ。私た



1年時の球技大会 ゼッケン22番が結香さん

友達になりました。Be friends！

①令和5年度通常会計収入 (単位円)	
項目	決算額
入会金	834,400
維持会費	2,282,130
前年度繰越金	773,828
雑収入	10
収入合計	3,890,368

②令和5年度基本会計収入 (単位円)	
項目	決算額
前年度繰越金	14,556,338
入会金	208,600
寄付金	73,437
名簿売上金	9,400
利子	184
収入合計	14,847,959

基本会計次年度繰越金 14,847,959円

①令和5年度通常会計支出 (単位円)	
項目	決算額
会議費 (常任理事会・理事会・編集委員会)	67,893
行事費 (総会)	279,963
庶務費 (各支部総会御礼)	30,994
旅費 (各支部総会出席のための旅費)	0
部活動後援会費	295,990
会報発行費	1,925,507
教育後援会負担金	200,000
卒業記念品代	149,160
通信費	22,508
消耗品費	27,636
振込手数料 (維持会費)	221,341
雑費・基本会計への繰出・予備費	0
支出合計	3,220,992

通常会計次年度繰越金 669,376円 (令和6年度有燐同窓会総会資料より)

令和5年度 有燐同窓会決算報告

(令和6年度有燐同窓会総会資料より)

ちの時代は3人の顧問がいたというおまけつき！ということ、毎年新しい先生に慣れ、別れ、そして次に進んでコンクールに出るという歴史でした。同学年、同部の先輩後輩の皆さま、頑張りましたよね私たち。ほめてもいいんじゃないでしょうか。このことをこの後の人生のそばにおいて進んでいきたいと考えます。まだまだ人生は続いていきます。さあ、顔をあげていきましょう。



昭和51年卒「野の花の会」の皆さん

祝 奏
ソプラノ 佐藤 玲
バリトン 深瀬 廉
ピアノ 三田村純子

♪モーツァルト作曲
歌劇「魔的」より
「ノバゲーン・ノバゲーンの二重唱」

♪ロッシーニ作曲
歌劇「セビリアの理髪師」より
「私は街の何でも屋」

♪シューベルト作曲
「魔王」

♪メンケン作曲
ディズニー「アラジン」より
「ホール・ニューワールド」



祝辞 青木佳先生



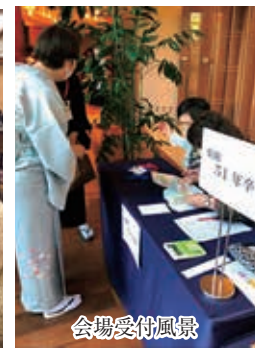
長寿会員の皆さま



懐かしい面々



テーブルを囲んで



会場受付風景

野の花の会の私たち



実行委員長 柿崎 寿摩子

今年度の同窓会は、コロナ終息により参加者制限なく、歴代校長、後援会会長、恩師、長寿会員の皆さまと理事の方々のお声がけで174名の出席となり、喜ばしく感謝しております。

「野の花の会」の名称は、たおやかで凛とした姿で咲く西高生の乙女たち、明るく笑顔で命を生きるという気持ちを込めました。

戸惑いながら始めた1年前の実行委員会でしたが、4年ぶりにポスター作成するなど、メンバーの力を強く感じました。その成果もあり、帰りの際、皆さまより楽しかったとお声をかけていただきました。

これからも新しい時代の同窓会が開催されることを期待します。

笑顔が絶えない同窓会

実行委員 佐藤 幸子

当番学年という年齢は、まだ仕事や介護、孫の世話、自分と家族の健康管理など、重要な役割を担っていることが多く、多忙な中での実行委員会でした。担当ことや全体での集まりは同窓会館を使用できてありがたかったです。初めての実行委員会なので、同窓会三役との連携が重要でした。また、家族の協力もなければできなかったと思います。

当日は受付を担当しましたが、長寿会員の皆さまの若さに驚き、玲さんと深瀬さんの歌声には背筋が伸びて、まだまだ頑張れるぞ六十代！というパワーを頂きました。天候にも恵まれ、たくさんの方々の同窓会、恩師の先生方、来賓の方々にご参加いただき、同窓会役員と同期生の一致団結のおもてなしで懐かしい思い出話に花が咲き、終始笑い声の絶えない懇親会でした。ご協力に感謝いたします。

令和7年度 有燐同窓会総会のご案内

○日時 令和7年6月8日(日)
受付/午前11時30分より
総会/12時より
懇親会/13時15分より

○会場 ホテルリッチ&ガーデン酒田
TEL 0234-26-1111

○会費 4,500円(当日持参)

○申込方法 各学年の理事まで

○申込締切 令和7年4月30日(水)

○当番学年 昭和52年卒業生

○実行委員長 菅原由佳里

○問合せ先 TEL 0234-26-7006 (伊藤 みつ まで)

環境と人に恵まれて

株式会社花鳥風月 代表取締役 佐藤 勇太
(平成13年卒業)

2023年10月「日本ご当地ラーメン総選挙」が初開催され、酒田のラーメンが第1位となった。酒田市と「酒田のラーメンを考える会」としてエントリ。酒田のラーメンを全国区にしようと汗をかいてきた会員の努力が実った瞬間だった。



私は、小学生の頃から料理の楽しさを知り、父からも「手に職をつけろ」と助言があり、東京の華調理師専門学校に進んだ。2年の時、高校時代にアルバイトをしていた「満月」の先代の主人に「本気でラーメンの道に進まないか」と声をかけていただいた。卒業後、

3店舗で4年間ラーメンの修業をした。最後の2年間修業した「新月」より店を譲り受け、2006年10月「花鳥風月」を開業した。名物は海老ワントン。現在は5店舗に増えた。人と環境に恵まれたお陰と感謝している。

一杯のラーメンを作るには小麦粉、ネギ、肉、醬油などが必要。なるべく地域のもので使いたい。地域で消費する量を地域で生産する「地消地産」を目指したい。そこで、山形大学農学部が行っている庄内スマートテロワール事業に参加して、農家と共に6年前から庄内産小麦「ゆきちから」を栽培、昨年は30トンを収穫した。放置竹林の竹で庄内産メンマの生産も模索している。現在は庄内産の食材でラーメンの7〜8割ができるようになった。

これからも地域の方たちと協働し、ラーメンに携わる同業の皆さまと山形県を、酒田市を盛り上げたい。酒田のラーメンを全国に、海外に広めていくことが私の目標です。

写真提供 佐藤 充氏 (平成17年卒業)



秋の庄内平野と鳥海山

私の小さな活動

酒田市グリーン・ツーリズム推進協議会員 村上 淳子
(昭和46年卒業)



鳥海小学校1年生に花の植え方を説明

きっかけは、酒田市農業委員会が募集し、海外研修に行った農村女性「土里夢の会」。自分たちが育てた花を市民に植えて頂き、ゴミのポイ捨てを無くしたいと始めた「花いっぱい運動」でした。そして、我が地元にも植えたいと保育園に提案し、小さなマリゴールドの苗を提供し、畑のおばさんとして子どもたちと一緒に植えることになりました。子どもたちの散歩の途中に野菜の収穫体験をすることも。苗を育てる人、植える人、手助けする人など、多世代が関わることで、地元愛が深まるのではと、公民館主事に私の夢を語り、保育園、小学校、老人クラブ、

同時に私自身も楽しみ、自給自足、地産地消、国産国消、自分家族の食物を選択する時に体験し、見て聞いたことが役立つことを願いながら、活動を続けたいと思います。

環境衛生、事業推進委員会の皆さんに関わって頂き、事業として実現し現在に至っています。花作りは素人、種を播いても芽が出ない、芽が出て育たないなど、失敗はたくさんありましたが、人との繋がりで助けられてきました。この度、酒田市より環境衛生功労者の感謝状を頂き、改めて関わって頂いた皆さま、家族に感謝です。

農業に携わってつらいと感じることは、一生懸命手掛けた作物に経費や労力に見合わない値段が付くこと。肥料、農業規則、厳しい出荷調整、日本産は安心、安全な作物と誇れます。多少値段が高くなり喜んで輸出品が入り、対抗して大規模経営に転換するにも機械投資が半端ない。これでは後継者も育ちません。

酒田市グリーン・ツーリズム推進協議会に在籍し、二十数年。保育園児、家族連れ、友達同士などが家の圃場に受け入れていきます。そして農業体験をし、農業理解を深めて頂き「畑に来て良かった」と言ってもらえる様に努めています。

同時に私自身も楽しみ、自給自足、地産地消、国産国消、自分家族の食物を選択する時に体験し、見て聞いたことが役立つことを願いながら、活動を続けたいと思います。

楽譜に忠実に、リズム大事に

酒田フィルハーモニー管弦楽団 1st violin奏者 佐藤 玲子 (昭和51年卒業)



酒田フィルの練習風景 後列右から3人目が玲子さん

私が入部した器楽部は創部3年目で、1年時は伊藤俊幸先生、2年時は佐藤行和先生、3年時は池田久美先生（前同窓会長）という稀有な学年です。それぞれ思い出深いのですが、伊藤先生からはとにかく基礎からみっちり教わりました。定期演奏会やそのための真夏の合宿など、楽しい思い出です。在学中に酒田フィルハーモニー管弦楽団（以後酒フィル）の「音楽教室」に参加して、小学校に出向いてスクールコンサートをしたこともありました。

卒業後数年たってUターンし、すぐに酒フィルに入団、その時伊藤先生は、創立メンバーの一員で酒フィルの初代会長。酒フィルの活動は秋の定期演奏会・春の

新たな道を目指して

遊佐町議会議員 伊原 ひとみ (昭和58年卒業)



遊佐管内視察中 右手前がひとみさん

長代理という立場で年に数回議会に出席して雰囲気を知っていましたし、何より女性議員減少に危機（不安）感も感じていました。

農家に嫁ぎ、農業を始めて30年弱。60歳を目前にして仕事のペースを少し落とそうかなあ...。と思っていた頃、突然の出来事でした。

時田前遊佐町長の急逝によって始まる、町長選挙と町議補欠選挙。その補欠選挙にでないか？と知人の町議会議員に声をかけられ、また、直売所仲間たちからの後押しもありました。

最初は断っていましたが、友人の「立派な人に議員になってもらうより、私たちの声を聞き、届けてくれる、普通感覚のわかる人に議員になってほしい」という言葉に心を動かされました。

また、当時私は農業委員会会

は言うまでもありません。家族の了承や協力は不可欠です。すし、周りの支えてくださる方々からのご指導や協力がなくてはできない活動でした。本当に感謝しております。ありがとうございます。

議員になってみて、今まで見えていなかった議員の仕事量の多さと、町の事業や予算、町民のことなど、まだまだ学ぶことの多さを実感しています。とは言えまだ始まったばかり。初心を忘れず、町民の声に耳を傾け、今よりもさらに暮らしやすい遊佐町を目指して頑張ります。60歳からの人生、今までより忙しくなりそうです。

ふるさと人をつなぐ

高等学校DX (Digital Transformation) 加速化推進事業への取り組み

全日制教頭 富樫 晃

この事業は文部科学省が今年度からスタートさせた事業です。ICT（情報通信技術）を活用した文理横断的・探究的な学びを強化する全国の高校千校を対象に、一校当たり最大で一千万円の支援を行うものです。本校は同事業に申請し、採択されました。

本校では、予測困難な時代に

必要な資質・能力の向上を目指し、総合的な探究の時間を活用して、探究学習に力を入れています。生徒は各自の興味・関心



3年次探究学習発表会

に基づいてテーマを設定し、研究を進めます。探究的なアプローチを通じて、深い理解と創造的な思考を育むことを目標としています。研究の過程で重要なことは、信頼性の高い根拠を明示することです。関連するデータを収集・分析し、根拠を明確にすることで、説得力が高まります。

この事業では、より高度な情報分野の学習が求められており、本校の探究学習の充実を図るために「データサイエンス」や「AI（人工知能）」の活用」の学習を大学や企業などと連携しながら進めていく予定です。

施設・設備については、現

在、LL教室を改装して、アクティブラーニングルームを整備します。他者と協力しながら持続可能な社会を創るための協働的な学びをさらに深めます。可動式の机や椅子・ホワイトボード、高性能PCやプロジェクター一体型スクリーン、3Dプリンタ、音響設備などに加え、さらに高速通信環境を整えることにより、校内外の多様な方々と繋がりがながら学びを展開する予定です。

卒業生の進路と
今年の大学入試
進路課長 佐藤 敏

おめでとう	
全国高等学校総合体育大会出場	五十嵐夢輝 佐藤 颯
◎ローイング競技	
池田 朔 佐藤 海斗	
大塚 彪峨 菅原 大知	
石黒 悠太	
全国高等学校総合文化祭出場	
◎書道部門	
佐藤 彩音	
令和5年度 高山樗牛奨励賞受賞	
阿部 未羽	
全国高等学校定時制通信制体育大会出場	
◎陸上	
小野 優歌 今野 知広	
齋藤 衛杜	
◎バドミントン	
佐藤 陽菜 本多 恵香	

全国大会に参加して
ボート部部長
3年次 五十嵐 夢輝
8月9日～12日に長崎県諫早市本明川水上競技場で行われたインターハイに出場してきました。結果は準々決勝敗退というふがいない結果に終わってしまいました。私にとって今回の大会が西高としては最後だったのが、悔いが残る結果だったのですが、自分たちの全力を出すことができたと思います。このクルーや、支えてくれた人たちのおかげで、とても貴重な経験をさせてもらいました。応援ありがとうございました。

定時制だより



センチが丘（校舎裏の土手）での花見集合写真

定時制教頭 土田 聡子
4月9日に入学式を挙行し、15名の新入生を迎えました。今年度は、生徒数54名でのスタートとなりました。

6月に県高校定時制通信制総合体育大会が新庄市を会場に行われ、陸上競技女子100m・200mで優勝（二冠）、男子走り高跳びで優勝・準優勝、バドミントン女子ダブルスで2位となるなど大健闘し、5名の選手が全国大会への出場を勝ち取りました。

7月には生徒会行事「前期スポレク」が開催され、紙飛行機競技や借り物競争など生徒会が考案した企画で大いに盛り上がりしました。学校行事を通して互いに交流を深めながら、それぞれが自分の目標に向かって充実した学校生活を送っています。

趣味と終活

昭和46年～52年 英語科 青木 桂先生

今春、^{よわいやそじ} 齢八十路半ばにして名刺を新しくした。自分でも今更と思ったが、遊び心もあつての所業である。名付けて「終活名刺」である。これまでのものは堅いものだったが、今回のものは表には「家庭菜園（緑）菊花つくり（黄）ゴルフ（緑）を趣味として楽しんでいます」とカラーにした。裏面には略歴を載せ、最後に「皆さんとの邂逅、ご厚誼に感謝しております」と載せている。



家庭菜園は、軽トラと耕耘機を仲間にして約130坪の畑に20種類ほどの野菜を育て楽しんでいる。

菊花は、十数年挑戦している

が大輪を咲かせるのは、なかなか難しい

が、大菊15鉢、ダ

ルマ、福

助など秋

の開花を

期待し追

い込みの

先生 お元気ですか



平成2年～10年 家庭科 大場 広子先生

約30年前のあの頃は創立100周年を控えた大切な過渡期でした。新校舎の設計と移転、カリキュラムや制服も改定し、新たな時代を生み出そうとするエネルギーに溢れていました。これらの業務の一部に関われたことは貴重な経験でありました。また、当時の印象的な出来事の一つに、平成3年、初めての男子生徒3



名の入学があります。地域の要請や保護者の方々の理解、そして本人たちの志が無ければ実現しなかったことです。

家庭科では、高校での男女必修が既に決まっております、男子生徒の受け入れはむしろ自然でした。本人たちは実習やテストでは苦労したようですがキルティング地の「半纏」製作や食生活

世話で毎朝忙しい。
グランドゴルフは近くに練習場があり、大会も多く交流の場になっている。東北・北海道大会にも参加できた。ゴルフは始めて丁度30年、スコアはともかく狙いはコンペ最高齢出場です。すでに達成できている。参加すると若いころに知りあつた方々や数十年ぶりに会う教え子など旧交を温める機会が数多くあり、近況を知らせること、思い出を語り合うツールとして名刺は終活に役立っている。楽しい日々を送れていることはありがたいと思うこの頃です。

今では、「ジェンダー平等」は国際的に目指すべき課題の一つ。多様性を認め合い、人権というレベルで尊重しあえる社会を目指して卒業生の皆さまの一層のご活躍に期待しております。

鶴岡支部 和やかに交流

支部長 佐藤 千代子（昭和48年卒業）

6月30日(日)鶴岡料理「すず音」を会場に同窓会鶴岡支部の総会と懇親会を行いました。高橋校長先生からは生徒たちの近況や部活動での活躍などを聞き、同窓生として嬉しく心の励みになりました。齊藤同窓会長からは、同窓会の活動など様々なお話しをお聞きます。後ほ活動が続けていくことの大切さを感じた



ところ。今回は5年振りの総会と懇親会でしたが、美味しい鶴岡料理と西高時代のなつかしい思い出に会話ははずんで、和やかに楽しい時間を過ごすことができました。皆さんで旧校歌を斉唱した時には、懐かしい校舎や恩師の先生方、仲間と過ごした高校時代の思い出が蘇り、本当に楽しく貴重な時間になりました。2年後の懇親会は、さらに多くの会員の皆さまにお会いできることを願っています。

齋藤茂吉文化賞受賞



関矢 順氏
(昭和42年卒業)

第69回 令和5年度 齋藤茂吉文化賞を受賞されました。

ボーカルスタジオ混声合唱団「ゴロープリモ」の合唱指導者・指揮者として、長きにわたり地元合唱団の育成や幅広い演奏活動を牽引し、音楽を通して地域文化の向上に尽力してこられた功績が認められたものです。

瑞宝単光章受章



佐藤 由枝氏
(昭和51年卒業)

令和6年春の叙勲で「瑞宝単光章」を受章されました。

長年にわたり看護業務に携わってこられた功労が認められました。現在も日本海総合病院内の在宅医療介護連携支援室ポソテ室長として勤務。医療・介護それぞれの関係機関との橋渡し役として活躍中です。